

JAやまがた

7

2020 July



02 特集 JAの未来

農家の皆様へ 感謝と尊敬の気持ちを歌に込めて。

やまがた伝統野菜音頭

12 旬の料理 タイ風夏なすポト



JAやまがた公式 Facebook

広報紙 JAやまがた 2020/7月号 発行/山形農業協同組合 〒990-8535 山形市旅籠町1-12-35 TEL.023-641-3121 FAX.023-631-4714 http://www.jayamagata.or.jp/

プロに聞く やまがた旬の料理



タイ風
夏なすポト

●材料

- ・なす…2本
- ・鶏ひき肉…200g
- ・たまご…1個
- ・レッドカレーペースト…小さじ2
- ・マヨネーズ…大さじ1
- ・片栗粉…大さじ2
- ・小麦粉…適量
- ・油…適量

- 【タレ】※お好みで
- ・スイートチリソース…適量
 - ・食用菊(紫)…適量



1 ボウルに鶏ひき肉、たまご、レッドカレーペースト、マヨネーズ、片栗粉をいれて、粘りが出るまで混ぜる。



3 フライパンに2cm油をそそぎ、②をのせ、強火で4分、裏面を中火で4分焼く。



2 縦半分にしたなすの表面に小麦粉を軽くまぶし、断面に①で作った肉だねをのせる。



4 竹串をさし、透明な汁が出たら火が通っている証拠。スイートチリソースに食用菊を混ぜたソースをかけてもおいしく召し上がれます。

玉利さん直伝! なすの栄養ポイント

なすの皮の色は紫色ですが、これはナスニンと呼ばれるポリフェノールの一種です。この成分は強い抗酸化力もあるため、生活習慣病のもととなる活性酸素を抑える力ももっています。眼精疲労の緩和にも効果が期待できます。これらの成分をうまく摂取できるように、今回ご紹介したレシピのように油で調理すると、紫色も綺麗に残り、油で切り口をコーティングできるため、栄養成分が流れ出すのを防ぐことができます。また、なすはカリウムを多く含み、カラダの熱を逃がす働きがあるため、夏バテ解消にも期待できます。低カロリーで、水分、食物繊維が豊富な食材のため、健康食としても注目されている素材です。夏から秋にかけて旬となりますので、ぜひ、いろんな料理でお楽しみください。



オススメ読書



購読申し込み
経済課
TEL.023-624-8567



症状別 身近な食材で不調を改善
はじめての薬膳ごはん

武 鈴子 著

陰陽五行など薬膳の基本をマンガで易しく解説。「冷え」「便秘」「老化」など、女性に多い10の不調や季節のお悩みを解決する簡単レシピを70品掲載。食材ごとの効能や不調に効く組み合わせもよくわかる。

定価(税込)1,540円



今月の表紙/
渡邊真也さん(山形黒沢)

渡邊さんは、さくらんぼとお米を生産されています。「自分の生産した作物を美味しい!と喜んでもらった時に農業のやりがいを感じます」と話してくださいました。昨年度JAやまがた青年部部長、現在は山形県農業協同組合青年組織協議会の副会長を務められています。6月に全農ライフサポート山形様のCM撮影を終えられ、約1年間テレビで放送される予定です。ぜひ、ご注目ください。

Y-Eatsアンバサダー
玉利 紗綾香さん



■出身:山形市沼木生まれ、沖縄県、宮崎県で育ち。東京上京13年目
■仕事内容:料理家、栄養士、スポーツ栄養学講師、フードコーディネーターなど多方面で活躍中。
■メディア:マイナビおすめナビアドバイザー、デルモンテ365 アンバサダー、晋遊舎出版[MONOQRO][LDK]など

玉利さんの
Instagramは
コチラ!→



農家の皆様へ 感謝と尊敬の気持ちを歌に込めて。 やまがた伝統野菜音頭

心地よい音頭調で野菜の特徴が自然と覚えらる「やまがた伝統野菜音頭」。JAやまがた管内で生産されている伝統野菜を紹介しながら、伸びやかな歌声で野菜のアニメーションと一緒に踊る子育てママの半田未来さんが作詞作曲し、YouTubeで配信され注目を集めています。農家の方への熱い想いが詰まった歌をぜひ多くの人に聞いてもらいたいと願う半田さんにお話を伺いました。



初めての曲作りで
大きな反響

——曲作りは以前からされていたのですか。

半田 作曲を手掛けた時もなく、得意な楽器があつたわけでもなかったのですが、数年前に体調を崩し入院した時、「何かに挑戦してみたい」と漠然と思うようになりまして。夫が毎年開催している音楽イベントがあるので、そこで子どもから大人まで楽しめる曲を作ってみたいと思い、「山形の山おぼえつた」を作詞作曲し2018年に披露することができました。夫や周りの方にお力添えいただき伴奏や映像をつけてYouTubeでも配信したところ、知人のアーティストがカバーしてくれたり、介護施設でも歌われたりと、思いがけない反響があり、とても嬉しかったです。せっかくだからもう一曲作ってみようと思いが湧いてきました。



歌で伝統野菜を知る
きっかけに

——2曲目を伝統野菜の歌にしようと思つたのは。

半田 夫からの提案もあり野菜をテーマにした曲を作りたいと思っていました。半田家もキウウリ農家ですし、実家の両親も農業と関わりのある仕事をしています。私も結婚した当初、農業のお手伝いをし、おいしさ直売所に出荷をしていました。本格的に農業を経験したわけでは無いのですが馴染みがありました。野菜をテーマにするなら、山形の特徴も出したく、伝統野菜がいいなど制作に取り掛かり始めた時、日本でも新型コロナウイルス感染症が拡大しました。歌詞を作るにあたって、本来なら農家の方に話を伺うなど、そういうプロセスがあるべきだったのですが、私自身も次女を出産したばかりでしたし、新型コロナウイルスの影響でできませんでした。インターネットで伝統野菜を調べたり、JAの過去の広報紙でインタビュー記事を読み、農家の方はこんな気持ちで生産しているんだ、こういうところ

をPRしたいんだと学ばせていただきました。

食を守り続ける農家の方へ

——新型コロナも心配されながら、大変な時期に取り組んでいただいたのですか。

半田 世の中が新型コロナで混乱するなかでも、直売所やスーパーに行けば野菜やお肉はいっぱい並んでいて、食べ物の心配をしなくて済みました。高齢化などで離農する方が増えている時代の流れのなかでも、農地を守り続けていてくれる方たちがいるおかげで、私たちは今まで経験したこともない事態の時ですら、飢える心配をせずに生き



スタジオで収録している半田さん家族
写真・画像提供：半田技研

スタジオで収録している半田さん家族

音頭は日本人の ルーツミュージック

——音頭調のメロディーも親しみやすく、動画映像もとても可



動画はこちら！

やまがた伝統野菜音頭

(YouTube公開ショートバージョン歌詞)

ハー 花の山形伝統野菜
山形名物芋煮には
欠かせないのが悪戸芋
粘り強さが人気のヒケツ
とろけるうまさの 悪戸芋

ロングバージョンには
「蔵王かぼちゃ」
「金谷ごぼう」
「堀込セリ」「食用菊」も
登場します♪

ハー 花の山形伝統野菜
ホカホカご飯におみづけが
あれば幸せ 夢心地
齒触りシャキシャキ ピリリとキマる
箸がすすむね 山形青菜

ハー 花の山形伝統野菜
どっしり赤いボディーには
甘味うま味がぎゅーしりと
雪に負けない強さのヒケツ
根っこがんまいぞ 赤根ほうれん草

ハー 花の山形伝統野菜
緑と白の鮮やかな
コントラストも美しく
茎が太くてぬめりも強い
春の味覚だ 小笹うりい

先祖代々脈々と
守り継がれたこの味を
暑さ寒さに負けもせず
丹精込めてコツコツと
皆々様にお届けしたい
一度食べたらアナタもトリコ
あがってけらっしゃい 伝統野菜

子ども達を野菜ファンに

——今後の目標などはありますか。
半田 この歌は子ども達にとつて食べたことのない野菜の名前も出てくると思います。山形の伝統野菜を覚えて、家族でい

んな野菜を食べるきっかけになれば嬉しいです。
今、完成しているのは2曲ですが、ここまできたら、親しみやすい曲をもう少し作って、新型コロナウイルスが終息したら、幼稚園や小学校へ出向きイベント等を使っていただきたいと思います。子ども達に聞いてもらおうことで、自然と山形の野菜や山に親しんでもらい、覚えてもらうことが夢です。

プロフィール
半田 未来 (はんだ みき)



1991年、千葉県旭市生まれ。大学進学を機に山形市に住む。2014年結婚。山形市前明石で夫・和巳さん、長女・真織ちゃん、次女・真菜ちゃんと4人暮らし。結婚した当初、義父・義母の指導のもと、きゅうり栽培をし、おいしさ直売場へ出荷をしていた。現在は子育て中のため専業主婦。幼い頃にエレキと新体操を経験し、大学では音楽を学んだことが今回の歌や踊りの振付にも活かされている。半田技研：音楽や映像、イベントなどを夫・和巳さんが趣味で手掛けている。

新型コロナウイルス 感染予防対策

新型コロナウイルス感染予防対策として6月2日、JAさがえ西村山様より次亜塩素酸水消毒剤を300ℓお譲りいただきました。JA本支店、各センター、直売所、選果場で農業機械や施設内の机やノズルなどの消毒用として活用します。

JAさがえ西村山様では、毎分10ℓを生成する「次亜塩素水」生成装置を1台購入し、消毒液が不足する事態に備えています。



本店に絵画を寄贈いただきました



寄贈者・作者 上山市 後藤 武 様
作品名『秋のぶどう園』(専務室に展示)



寄贈者・作者 山形市 築達 幸子 様
作品名『チャイナドレスの女性』(2階ロビーに展示)

素晴らしい油絵を
ありがとうございました。

本店にお越しの際は
ぜひご鑑賞ください

組合員の皆様へ 新型コロナウイルス感染症対策に関する 各種支援策活用説明会開催のお知らせ

新型コロナウイルス感染症対策の各種支援策につきまして、農家組合員の営農活動の回復と経営継続の支援を目的に、国の1次・2次補正の予算化や、山形県独自の対策が講じられます。

つきましては、支援策活用の説明会を下記にて開催いたしますのでご参加くださいますようお願いいたします。

尚、新型コロナウイルス感染防止のため、ご参加される場合は**マスクの着用**をお願いいたします。

【中央ブロック管内】

令和2年7月21日(火) 午前8時30分より

●天神支店 2階会議室にて

【西部ブロック管内】

令和2年7月21日(火) 午後1時30分より

●西部支店 2階会議室にて

【北部ブロック管内】

令和2年7月21日(火) 午前10時30分より

●山辺支店 2階会議室にて

【南部ブロック管内】

令和2年7月21日(火) 午後3時30分より

●上山南支店 2階会議室にて

理事会だより
今回の報告・協議された項目から抜粋して掲載しています。

第3回理事会
〔5月15日開催〕内容より

- 協議事項
総代会が決議した理事報酬の配分
- 報告事項
旧石曾根集荷場売却に伴う入札会
- JAやまがた地域農業振興計画の取り組み
令和元年度野菜ハウス団地、事業外野菜ハウス団地収益・費用及び果樹ハウス団地、事業外果樹ハウス団地収益・費用
- JAやまがた果樹(もも)団地第2期工事分圃場利用者の募集
- 協議事項
令和元年度定期決算監査個別改善意見に対する回答書
- 山形県農業信用基金協会に対する増資
- 役員賠償責任保険の継続加入
- 第24回通常総代会の開催日(仮スケジュール)
- 令和2年度果樹団地・果樹ハウス団地事業の取り組み及び固定資産の取得
- 付帯決議による定款の一部変更

役員より vol.13



理事
丹野雅彦

平等と公平の協同組合

年明けとともに、新型コロナウイルスが発生し、未だに大都市圏では感染者が出ています。農作業は今が繁忙期であり、感染予防・対策をしっかり行って作業にあってください。

私の思う協同組合は平等と公平を考え、平等だけに偏った協同組合は、今後発展が出来ない場合が多いと思います。JAやまがたの組合員そして職員が相互に平等と公平の共有意識があればこそ、利益や地域の信頼を生むJAやまがたになるものと考えます。

DIRECTOR'S OPINION
2020

リフォーム なんとたつす? お家の困りごと何でもお気軽にご相談下さい!

水まわりリフォーム キッチン・浴室 洗面所・トイレ

交換工事 換気扇交換 蛇口水栓交換

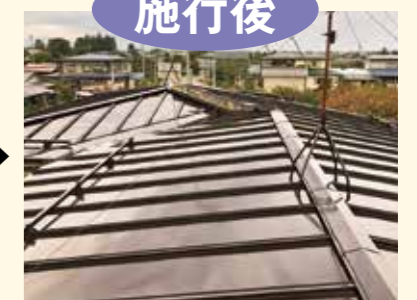
住宅設備のお取替え・ボイラー修理・ガス器具・家電・消火器もおまかせ下さい

株式会社 エイエイあぐりんやまがた
燃料部エネルギー課 担当 門脇
〒990-2352 山形市大字前明石字下川原 298-5
TEL.023-647-9898 FAX.023-647-9899
フリーダイヤル 0120-25-9898

施行事例 山形市H様宅 屋根塗装工事

リフォームのきっかけ

何年も前に屋根塗装したっきりで、屋根の状態が気になっていた。農協のチラシにて、あぐりんやまがたを知り相談した。親切に相談に乗ってくれた。



所々サビている所もあり、全体も白んでいて、手入れが必要なタイミングだった。

天気も良く、工事も順調に進み、仕上がりが完璧!

【お詫びと訂正】6月号、8ページ『彩り鮮やか食用菊 園地巡回』の記事においてJA広域食用菊部会副部長様の氏名に誤りがありました。「海和良一副部会長」正しくは「貝和良一副部会長」です。以上のように訂正し、ここに深くお詫び申し上げます。



5月23日(土) 福祉センター青田 ハンカチでマスク作り

福祉センター青田では、利用者の皆さんがハンカチを使ってマスクを手作りました。女性部東金井支部の斎藤律子さんよりご提案いただいた作り方で挑戦しました。1枚のハンカチとゴム2本を使い作ります。折り方を何度も練習しマスクの形にし、ゴムを通して完成です。利用者さんは「楽しい、家にあるハンカチでも作ってみたい」と話していました。また、毎年悠創の丘で開かれる「たけの子まつり」が新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったため、NPO法人グリーンセンターの佐藤稔理事長がセンターを訪れ、孟宗竹をプレゼントしてくださいました。利用者の食事に使用させていただきました。



6月15日(月) 高品質なデラウェア生産に向けて園地巡回

本沢果樹部会はぶどう「デラウェア」の生育状況を確認するため全部会員の園地巡回を行いました。部会員は山形市のJA本沢集荷場に集合した後、各地区に分かれて園地を巡回しました。県村山総合支庁農業技術普及課鈴木雅満主任専門普及指導員とJA職員が同行しました。

巡回では一坪あたりの着房数、房の長さ、棚の明るさ、病害虫の有無などの現状と今後の栽培管理について確認。鈴木主任専門普及指導員は「摘房は一坪あたり40房程度で一新梢あたり2房に、摘粒は軸長1センチに8~9粒を目安に作業してほしい」とアドバイスしました。



デラウェアは6月22日に初出荷を迎えました。

6月12日(金) 小学生がバケツ稲に挑戦!



山形市立第五小学校の5年生48人は、同校でバケツ稲作りを行いました。当JA営農米穀課の井上信一郎課長補佐が指導しました。

児童は1人1つ土と肥料が入ったポリバケツに水を加えて手で混ぜながら水田の状態を作り、水に浸して芽出しをしていた「はえぬき」の種を播きました。児童は「泥が気持ちいい。田んぼで田植えもしてみたい」と楽しそうに体験していました。井上課長補佐は「水の管理をしっかりと、おいしいお米を育ててほしい」と呼びかけました。



6月11日(木) 野菜ハウス団地産きゅうり 県知事へ

岡崎輝明組合長は山形県庁を訪れ、吉村美栄子県知事に山形市に整備した野菜ハウス団地できゅうりが順調に栽培されていることを報告しました。団地は、県の大規模園芸団地化推進プロジェクトの一環として2017年から2019年の3年間で整備し、2018年に第1期の利用を開始しました。現在は合計86棟のハウスで21名がきゅうりの栽培に取り組んでいます。岡崎組合長は「全国的にきゅうり産地は減少しており、市場からの要望も多い。ベテラン農家の指導のもと今後も後継者を育成していきたい」と話し、団地で栽培された朝取りのきゅうりを贈呈しました。吉村知事は「山形の野菜で作るだと漬物は格別においしい。今後も山形の農畜産物振興に協力したい」と話されていました。



同日、村山総合支庁へも訪問しきゅうりを贈りました。

5月23日(土)~6月下旬 レジ袋有料化に備えよう! フレミズ米袋バッグ



おいしさ直売所落合店でフレッシュミズ部が製作した米袋バッグが販売され話題となりました。7月1日から全国でプラスチック製レジ袋が有料化となるのに伴い米袋をエコバッグとして使ってほしいと企画。米袋は当JAの30キロ用の袋を使用し産地のPRも兼ねています。バッグの大きさは高さ32センチ、底のマチ幅20センチ、上部の横幅40センチ、下部の横幅30センチの台形型で容量もたっぷり破れにくく丈夫で耐久性も抜群。一つ700円で販売し、売り上げの一部を「山形県新型コロナウイルス対策応援金」へ寄付する取り組みも合わせて行いました。



米袋バッグは数量限定で販売し、6月末までに完売しました。

5月19日(火) 農作物盗難を未然に防ごう!

管内のさくらんぼが収穫期を迎える前に農作物盗難防止広報車出発式を北部営農センターで開き、防犯指導や巡回パトロールを強化するため一致団結しました。生産者やJA役職員ら約30名が参加し、岡崎輝明組合長は「丹精込めて作った農産物を守るため地域の皆さんと団結し盗難防止に努めていこう」と呼びかけました。稲毛泰一専務より、生産者と各営農センター長へ「警戒中」ののぼりと帽子が手渡された後、参加者は広報車と青パトの出発を見送りました。



JAでは防犯チラシの配布、のぼりの設置や広報車での園地巡回のほか、地元警察と連携しながら盗難防止策を徹底します。



5月12日(火) 広域選果場 稼働開始



中央営農センターで広域選果場の豊作・安全祈願祭を開き、選果機と大型冷蔵庫の安全な操業と農作物の豊作を祈りました。新型コロナウイルス感染症防止のため規模を縮小し、生産組織代表者とJA役職員ら、13名が出席。

丸子嘉実常務は「新型コロナウイルスの影響で各市場との連携が希薄にならないよう、Web会議用のシステムを導入し、販売戦略に対応していく。引き続き産地ブランドを高め、有利販売に取り組む」とあいさつされました。生産者を代表して、中央野菜部会の高橋守部会長が「こんな時だからこそ、安全安心な農作物を生産していこう」と参加者に呼びかけました。



広域選果場では、トマト、リンゴ、柿、西洋梨を取り扱っています。

5月27日

果樹団地 桃の栽培スタート

山形市西中野に造成したJA果樹団地で利用者の認定書授与式を開き、岡崎輝明組合長より20代から40代の男性6人の利用者に認定書が手渡されました。JAでは園芸大国やまがた産地育成支援事業などを活用して、水田1.3㌶を整備し、防風ネットと灌水設備を備えた20㌶の団地5区画と30㌶の団地1区画を造成。利用者は桃の栽培に取り組みます。

岡崎組合長は「皆さんで切磋琢磨しながらスキルアップしてほしい」と激励。利用者を代表して海和寛さんが「立派な施設と機械を準備していただきありがたい。団地の仲間と協力して全国おいしい桃を届けたい」と決意表明されました。



4月30日

第2期 果樹ハウス団地 シャインマスカットの栽培スタート

山形市長谷堂地内の水田90㌶を整備し10㌶のハウス2棟と25㌶のハウス2棟を建設した第2期のJAやまがた果樹ハウス団地で利用者の認定書授与式を開きました。

岡崎輝明組合長が利用者3人に認定書を手渡し「しっかり経験を積んで栽培に励んでほしい。我々も販売に尽力したい」と激励し、利用者を代表して橋本治さんが「立派な施設をお借りしたことに恥じないよう、素晴らしいシャインマスカットを生産したい」と決意表明をされました。

授与式後定植講習会を開き、利用者の皆さんは県村山総合支庁技術普及課の工藤信課長補佐と同団地の栽培指導者を務めるぶどう農家、今野智夫さんより苗木定植のポイントを学びました。



さくらんぼの時期を迎えました

6月4日 【西部果樹組合桜桃部】出荷説明会と着色管理講習会

西部集荷場で開かれた出荷説明会で、生育・作柄状況・出荷受付体制などを確認した後、園地に移動し、県村山総合支庁の工藤信課長補佐より、着色管理のための摘心、葉摘み、摘果作業のポイントを学びました。



6月4日 【中央果樹組合】夜間パトロール

さくらんぼの盗難を未然に防ぐため、山形市出羽地区で夜間パトロールを実施しました。

山形警察署と生産者4人、中央営農センターの職員が午後8時から約1時間、管内の園地を巡回し、不審な車や人影がないか確認しました。6月8日までに、明治地区、大郷地区、東金井地区も夜間パトロールを実施し警戒を呼び掛けました。



6月8日 【南部営農センター果樹部会】目ざろえ会と出荷打合せ会

JA職員より、販売概況、出荷要領、盗難防止対策などの説明後、目ざろえ会を開きました。新型コロナウイルス感染予防のため、サンプルを5か所に設置し、生産者はそれぞれ着色割合や果実の大きさを確認しました。



5月30日

若手職員農作業研修スタート!

里芋・枝豆・さつまいも・ネギ・とうもろこし・生姜などを育てます

例年、開催している「わんぱくあぐりスクール」が新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み中止となりました。

同スクールで使用している畑では、農作業研修として、新採職員・入組2年目職員を中心に野菜の定植をしました。水やりや除草作業を当番制で行いながら収穫を目指します。



フレミス畑

畑の一部ではフレッシュミズ部の「フレミス畑」が始動しました。

親子で里芋と生姜の定植を行いました。



牛乳・乳製品の消費PR

新型コロナウイルス感染拡大によって、学校給食用牛乳の供給停止などで牛乳の需要が落ち込むなか、当JA酪農部会は管内二市二町を訪れ、牛乳・乳製品の消費拡大の協力を求めました。



5月22日
山辺町・中山町



5月26日
山形市



5月28日
上市市

農作業の技術向上を目指し 女性向け講習会スタート

JAやまがた南部営農センター果樹部会は部会員の女性家族を対象とした「女性向け講習会」をスタートしました。

南部営農センター営農企画指導員TACTの土屋弘之副主査が女性も講習会に参加しやすく農作業中の疑問解消や技術の向上に役立ててほしいと企画。第1回目は4月9日、上山市皆沢の園地で「今年は大事! 西洋なし春作業について」を開きました。女性6人が参加し、県村山総合支庁農業技術普及課の職員より西洋梨「ラ・フランス」の摘芽、摘蕾、摘花作業のポイントを学びました。参加者は「理論から教えていただいたことで、作業の意味も理解でき自信を持って仕事ができる」と充実した表情をみせていました。

講習会は今後、シャインマスカットの管理、税務についてなど予定しています。10人の女性から申し込みがあり、自分の作業に合った講習会に参加します。



読者の広場

7月号のテーマ

母の日・父の日

●これまで息子から両親一緒に山響演奏会や歌舞伎、プロ野球公式戦、映画のチケットをもらっていました。コロナの今年は「畑仕事手伝い券」。さくらんぼ作業等、大助かりです。(山形市 Mさん)

●心温まるエピソードをありがとうございます。コンサートやスポーツ観戦チケットのプレゼントも素敵ですし、一緒に畑仕事されて、さらに仲よし親子になられたことでしょう。

●父の日と主人の誕生日が近いので、2人だけの時はチーズケーキを作っていました。今年は次男が水ようかんを作ろうかなと話しています。(山形市 Iさん)

●次男さんがお菓子作りされるんですね!愛情たっぷりの手作りお菓子でのお祝いは嬉しいです。

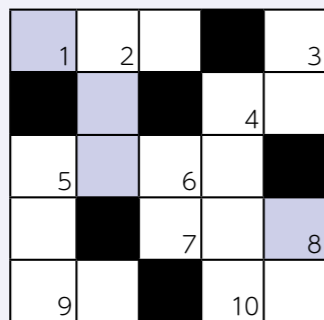
●子供たちも大きくなって県外に行ってしまうと忘れられたみたい!?遠まわしに催促しちゃいました…。これで情報交換が得られればしめたものです。(山形市 Mさん)

●遠く離れて暮らしていると、渡すタイミングがないのかもしれないですね。Mさんのように父の日、母の日のイベントで連絡を取り情報交換するきっかけとなるのも良いですね。

息抜き

クロスワード

あみがけの□部分に入る文字を並べ替えて言葉を作りましょう。



→ヨコのカギ

- 冷たい飲み水。冷や飯。
- 米を作るために植えられる草。
- 金魚の品種の1つ。琉金型で、大きく広がり反転する尾びれが特徴。
- ユーラシア大陸に属する巨大な連邦国。首都モスクワ。
- 夏に行きたい塩水で覆われた場所。
- 睡眠中に頭の中に浮かぶもの。

↓タテのカギ

- 夏の強い日光を遮るためにさす傘。
- 餅をつくために用いる木製の道具。
- お酒を飲むこと。
- 船や飛行機で海外へ行くこと。
- 単位の前について千倍を表す言葉。
- 大気中の水蒸気が冷やされて水のしずくになって落ちてくるもの。

当広報紙へのご意見・ご感想に加え、テーマに関するエピソード・写真・絵葉書なども募集しています。

●応募方法 / 「JAやまがた広報係」まで下記のいずれかの方法でご応募ください。応募者の「氏名、住所、電話番号」も忘れずにご記入ください。

郵便 〒990-8535 山形市旅籠町一丁目12-35
Eメール kikakukanri@jayamagata.or.jp

●締切 / 7月25日(土) (当日消印有効)

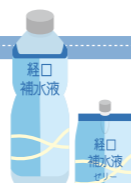
●プレゼント / 「クロスワード」正解者、またはご意見、ご感想を下さった方の中から抽選で3名の方に「おいしさ直売所商品券」1,000円分をプレゼント。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

6月号のクロスワード答え: ちきゅう

8月号のテーマ
七夕

●あともがき 広報の取材で農作業の講習会に出向く機会があるので、その時の知識に役に立てばと思いついた山形県農林大学校主催の「働きながら学ぶ果樹入門講座」に参加してみました。父がぶどうを生産していますが、あまり手伝いもできずいます。12月まで数回授業があるので、広報の仕事と家の手伝いに生かせるようにしっかり学んでいきたいです。

福祉センター青田 健康コラム vol.69



熱中症は予防が大切!

今年の夏は、コロナ感染予防のためマスクが欠かせません。マスクをしていると、喉の渇きが鈍くなったり、温められた息を吸うことで体の熱が下がらなくなります。

これらを改善する為には、「こまめに水分補給をする(塩分も忘れずに)」「エアコン・扇風機を上手に使用する」「部屋の温度を測り、風通しをよくする」「離れた窓を2ヶ所以上開けて、空気の入出口を作る」事が大切になります。

◀おすすめ飲み物▶

- ◎経口補水液(熱中症対策best)
- ◎スポーツドリンク(糖分に注意)
- ◎冷たい味噌汁(塩分、水分補給と体を冷やす役割)

他に、昆布茶もミネラル・塩分が多く含まれているのでおすすめです。

去年、山形での熱中症による救急搬送は170件近くありました。今年はコロナの影響もあり熱中症の患者さんの受け入れが難しくなることが考えられますので、予防をしてこの夏を乗り切りましょう!!

6月の通所介護



創作教室(手作りハンカチマスク)



畑教室(野菜収穫)



避難訓練(消火器訓練)



昨年、鏡恵子理事よりいただいたぶどうの苗に実がつけました。

お問い合わせ 福祉センター青田
TEL.023-616-8002

介護サービス事業 / 通所介護・訪問介護・福祉相談窓口



鈴木喜三郎さん

大正9年6月17日生まれ

山形市千歳にお住いの正組合員・鈴木喜三郎さんが6月17日に満100歳を迎えられました。現在は娘さんと二人暮らしで、健康状態はととても良好で老眼鏡も使わず字も書かれます。鈴木さんの元気の秘訣を伺いました。



生活習慣 5時に起床、19時就寝。毎朝らっきょうを食べる。

食事 好き嫌いはなく和食が好き。特に野菜とお肉が好物。

趣味 昨年まで自宅近くで家庭菜園をされていました。現在はヒザを痛めたため、娘さんが手掛ける畑まで散歩に行き、様子を見るのが日課となっています。

👑 ひ孫さんはユースオリンピックの金メダリスト!!

ひ孫さん2人が北海道に住んでおり、2番目のひ孫、山本悠乃さんは2020年1月にスイスで開かれた第3回冬季ユース五輪のスピードスケート男子500mで金メダルを獲得されました。鈴木さんのご自宅の居間にはひ孫さんの活躍された写真や新聞記事が飾られ、応援が元気の源となっています。悠乃さんは長野冬季五輪スピードスケート男子500m金メダリスト清水宏保選手ら多くの五輪選手を輩出した白樺学園高校で厳しい練習を積み、オリンピックでメダルを獲得することを目標に頑張っておられます。鈴木さんと娘さんは山形の食べ物が大好きなひ孫さん達にお米や野菜、悠乃さんの好物「山形代表りんご」ジュースを送りサポートされています。

これからも元気で過ごしてください。

ご自宅で元気に過ごす100歳を迎えられる正組合員さんまたはご家族の方で広報紙の取材をお引き受けいただける方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

本店総務課
TEL.023-624-8250

6月20日(土) さくらんぼ収穫の助っ人 元読売巨人軍 鈴木尚広氏

おいしさ直売所落合店にもお立ち寄りいただきました。



落合直売所敷地内で金・土・日限定で販売されている、山形のソウルフード「どんどん焼き」。初めて食べられたそうです。

クレープのようなものを想像していましたが、ボリュームがあり驚きました。美味しい!!

友好協定を結ぶ東京都のJA世田谷目黒様のご紹介で、プロ野球・読売巨人軍で活躍された鈴木尚広さんが、さくらんぼ収穫のお手伝いに山形へお越しくださいました。

収穫作業は本店経営管理部、大宮幸輝次長の山辺町にあるさくらんぼ園地で行いました。



※写真撮影のためマスクははずしてあります。

●鈴木尚広さん 「初めてさくらんぼの収穫をしました。農家の方は手際よく作業をされていますが、花芽を取らないように収穫するなど簡単ではなかったです。天候にも左右される大変なお仕事のなかで、1つ1つ大切に扱われ、農家の方の知恵と経験がなければルビーのようなさくらんぼができないと改めて感じました」